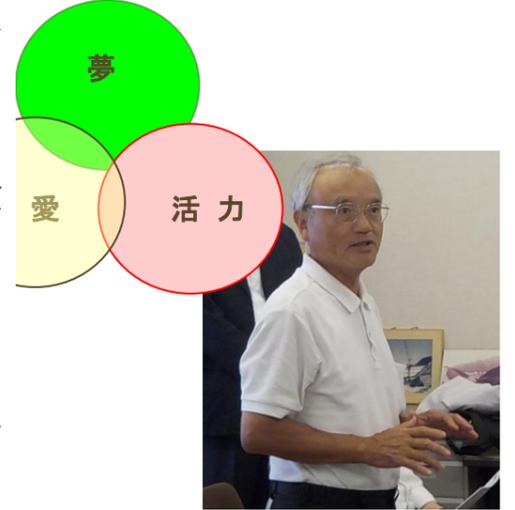


# 町が国を動かし、三宅町を創る！

(ごあいさつ)

- 故郷の三宅町においては雇用機会も少なく、人口も嘗ては9,000人近くであったものが現在6,800人程度であり、20年後には4,500人程度に減少するとの試算があります。
- 誰かがなんとかしてくれるわけではありません。「町民が誇りに思い、誰もが住んでみたくなる」郷土の再興を期す次第であります。
- 来年は、京奈和道・名阪国道をはじめ着実に大阪圏内のネットワーク化が進み更には、25年の大阪万博・45年までのリニア開通も予定されています。このような中、産業を再生させ、少子高齢化に先手で対応し、快適で誰もが安全に安心して暮らせ、精神的な充足を感じる品格のある活気に満ちた町造りが必要です。また、コロナの災禍後は、田園回帰も予想され、伝統文化を尊重すると同時に、その受け皿となるべく、創意工夫に満ちた個性豊かな町造りで故郷を蘇らせるチャンスです。
- 徹底的に町行政を透明化し住民の監視機能を高めると同時に、町のあるべき長期的な姿を示し、誇れる町造りを進める必要があります。「課題解決型先進町」としてモデルになろうではありませんか！



しがらみに捕われず、うわつかず、豊かな発想と行動力で

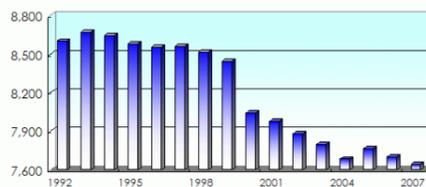
## 志野尚司(しのたかし)

(理念) 主役である町民がいきいきと躍動する舞台を提供することが町行政の使命との

認識のもと、「どんどん動いて」、「とことん話し合い」、「町で起こっていることを住民にしっかり伝える」。

- 政策を提案し、国を動かす三宅町
- 近隣町をリードする三宅町
- 夢、愛、活力ある三宅町
- 政策実現がスピード感あふれる三宅町
- 「働き方改革」による役場と住民
- 「ご互いさん」の心を重んじる三宅町
- 歴史と風土に根ざし、伝統と文化の香る三宅町
- 人が集い交わりにぎわう三宅町
- 頑張った人が報われる三宅町
- 自ら考え行動する三宅町
- オンリーワンのブランドを発信する三宅町

(町の人口推移)



このままでは、2040年に一人の若者が複数の高齢者を支えなければならなくなる。



- ※ (住民参加型) については、自助・共助・公助という概念のもと、それぞれの責務を認識。政策策定にあたり町民によるワークショップの開催、プロジェクトの事前・期中・事後評価の公開
- ※ (医療・子育て支援・介護) については、子育て世代への物心両面での支援充実、予防医療への取り組み、在宅介護の更なる支援
- ※ (心の豊かさ) を目指し、ない本はない図書館の創設(ネットの最大限活用)・花一杯運動の展開・人権尊重
- ※ (文化・芸術・スポーツ) の振興
- ※ (循環型社会) を推進するため、町の地球温暖化対策実行計画等を策定し、再生可能エネルギー活用模索
- ※ (防災・防犯) については、行政のみに頼らない自助、共助の重要性の啓発
- ※ (風格ある町づくり) 町まるごと博物館の空間造り「田園ミュージアム」

町民総力で

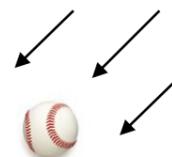
- 住民の監視機能を強化(処理状況及び議会の透明化等)
- コミュニティ機能の再生・発展、多様な地域社会の実現
- 有識者を入れて、中長期基本計画(マスタープラン:グランドデザイン)の策定
- 財政等数値目標の設定、近鉄との共生(踏切の拡幅)、入札監視委員会の設置
- モチベーションがわく役場造り、職員の過半数を三宅町出身に
- 留学生受入れ、派遣、国際・国内交流等による活性化
- 産業(エンジン)の育成支援、大学等との連携強化
- 地域資源活用と農福連携による先進的農業の推進
- 山・川・里・海を意識した上下流交流(大阪南部・吉野方面)、ため池の有効活用等で、治水利水に寄与(強靱化)

自立できるまちづくりを目指し、複合施設については、一旦立ち止まって、レガシーの活用も含め検証。

但し、大小多寡を問わず、投資すべき有効なプロジェクトには選択投資し、是々非々で対応

自然減の抑制(未婚化・晩婚化・晩産化の緩和)、社会減の抑制(雇用の創出)に対応

鄙の論理でアイデア勝負！



発行：令和2年6月  
三宅町を良くする会  
〒636-0214 但馬 260-7  
Tel 0745-56-6574